

脱走してからでは遅い！

猫の脱走防止対策していますか？

飼い猫が健康で安全に暮らすための基本は「完全室内飼い」。猫にとって屋外は危険が多く、病気やケガ、場合によっては命を落とすこともある。万が一の脱走で大切な猫が不幸な目にあわないよう、防止対策をお願いします

1

脱走対策はなぜ必要な？

屋外の危険から 猫の命を守るため

飼い猫が屋外に出ると

- ・感染症（病気）
 - ・交通事故（ケガ・死亡）
 - ・迷子（虐待・帰ってこない）
- の危険があります

※近年ではマダニを媒介として人や動物に感染するウイルス感染症

「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」
が注意喚起されています

2

猫はなぜ脱走するの？

好奇心や興奮 ストレスなど

- ・外の世界への好奇心
- ・大きな音に驚いて逃げる
(地震・豪雨・雷や花火、工事の音)
- ・来客等におびえて逃げる

4

どんなとき脱走しやすいの？

引越し・来客・大掃除の ときは要注意

玄関ドア開閉時に足元をすり抜けるほか、多いのはドアや窓の開閉に不注意になるとき。引越しや大掃除、来客など、ふだんと違う環境のときです

※地震や台風、豪雨など自然災害時も
猫が脱走しやすくなります

窓

ワイヤーネットと突っ張り棒
結束バンドで窓に合わせた脱走防止柵を



5

脱走対策は何をすればいいの？

玄関・閉鎖する窓に対策を

- ・玄関⇒足元のすり抜け防止
- ・閉鎖する窓⇒脱走防止柵

猫はジャンプ力があるため、窓の上部までカバーするのがポイント

市販の脱走対策グッズもありますが、100円ショップのワイヤーネットと突っ張り棒などで自作できます。各家庭の環境に合わせた対策を

玄関

ワイヤーネットで
玄関幅ぴったりにガード



ボランティアの想い

外で暮らす猫にはたくさんの危険があります。
保護してせっかく家猫になれた猫たちが
再び外出することがないよう、里親さんには
脱走対策を第一にお願いしています。
保護猫の譲渡活動では、脱走防止対策の
ご理解をいただけず、譲渡が成立しないこともあります。猫と生活する上で脱走対策が
常識となるよう、願っています

制作：モトニヤワタ実行委員会

写真協力：肉球家族



3

猫はどこから脱走するの？

玄関・窓から

猫は狭い場所もすり抜け、自分で
ドアや網戸を器用に開けること
も。パニック時に網戸を突き破る
ほど力があります

※「猫は液体」と言われるほど、体が柔らかい動物。まさかと思うほどのわずかな隙間も
すり抜けてしまいます

6

脱走したらどうすればいい？

すぐに半径100m以内を探し 各所に連絡

猫の行動範囲はそれほど広くない
ため、脱走場所から半径100m以内
を中心に諦めずに探ししましょう。

各所へ迷子猫の届け出・問合せも

元保護猫の場合、保護主への連絡が必要な
こともあります。譲渡契約書を確認しましょう

保健所

警察署

動物愛護
センター

元保護猫の場合
保護主

迷子になったときに飼い主が
わかるようマイクロチップの
装着が推奨（努力義務）されて
います。

※マイクロチップは装着す
るだけでなく、連絡先等の
情報登録が必要です

※マイクロチップにGPS機能
はありません



ドアと柵の間に
すき間ができない
よう設置するのが
ポイント

写真は猫を譲渡した里親さんのお宅の脱走対策の実例です